

場所・面積

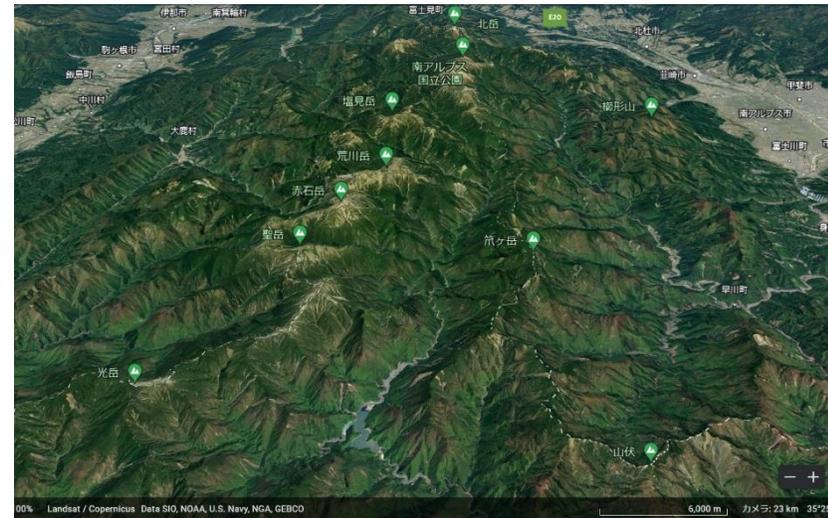
静岡県静岡市、24,372.42 ha、保護地域との重複がある場合（把握している場合）重複部分の面積 2,934.11 ha

管理目的

当社は井川山林を、自然環境を活かした①観光事業の場 ②林産物採取事業の場 ③ウイスキー事業の場として価値を高め、企業として永続することを目的に所有・管理している。

サイト概要

井川山林は南アルプスの南部に位置する南北約30km、東西の広い部分約13km、面積 24,372.42 ha、3000m峰10山を有する広さと高さで日本一の社有林。サイトの西側を赤石山系の山々、東側を白根山系の山々に囲まれ、中央を大井川が流れている。赤石山系と白根山系の山々のうち高山帯などは南アルプス国立公園に指定されている。井川山林では、昭和57年まで各地で木材生産が行われてきたが、こうした場所の一部は人工造林が行なわれ、それ以外の場所も在来樹種の旺盛な成長により森林が回復しつつある。また、木材生産が及ばなかった赤石沢や東俣の源流部などには原生林が残されている。こうしたことから、高山帯から落葉広葉樹林帯までの生態系が広範囲にわたり存在している。



土地利用の変遷

- 1895年、当時多くの企業の設立に関わっていた実業家の大倉喜八郎が井川山林を購入。
- 1907年に木材資源と水力発電を組合せた事業として製紙原料に注目し、当社の前身となる旧東海パルプを創業。木材生産事業が本格化、林内各地で伐採が行われる。
- 1982年、国内木材産業の不振や自然災害により木材生産事業から撤退。
- 1985年から10年間、大井川支流でダムや発電所などの建設工事が行われたのに関連して、一部用地で作業道や土捨場の工事が行われた。
- 1990年台以降の土地利用は、登山道を中心とする登山客などの利用が主となっている。土地利用としてはごく一部だが、2020年良質な水や熟成環境、木材資源（樽材）を利用したウイスキー事業（井川蒸溜所）を立ち上げた。



サイト周辺の環境

井川山林は南アルプスユネスコエコパークのほぼ中央に位置する。同エコパークのキャッチフレーズ「高い山と深い谷」が示すとおり、南アルプスは中央構造線とフォッサマグナに挟まれた長野、山梨、静岡の3県にまたがる日本最大級の山脈で、現在でも年間4mmずつ隆起を続けているといわれる一方、激しい浸食でV字谷が発達している。

生物学的には、南アルプスは中部山岳地帯の一番南に位置するため、氷河期遺存植物やライチョウなどの分布の南限となっているほか、ツキノワグマやイヌワシなど食物連鎖の上位に位置する動物が生息しており、豊かな生態系が維持されている。

また、こうした自然環境の存在を理由に、南アルプスの高山帯を中心とする地域が昭和39年国立公園に指定された。

アピールポイント

井川山林はすべてが申請者の社有林であり、井川山林経営の基本理念は「自然を守り、自然を活かす」である。単なる「自然環境の保全」だけではなく、企業として永続するための経済活動も併せて行い両立を目指している。この理念の実現のため、申請者は、自主的に森林に対する人為的影響を極力排除する自然保護地区に全体の59.5%を、観光分野などで自然を利活用する地区を融和地区として、それぞれ指定している。また、申請者は、企業としての使命を「『自然を楽しみ、自然を守る』人を育てる」と定め、行政や賛同を得た民間の方々と協働で自然保護活動や環境教育を実施している。

生物多様性の価値

価値（9）既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場

【場の概況】

- 井川山林は、高山帯を中心とした一部の区域が南アルプス国立公園に指定されている。また、井川山林南部、上河内岳の南東斜面と大井川沿いは静岡県によって奥大井県立自然公園に指定されている。
さらに、井川山林の東側、笹ヶ岳の東斜面は山梨県によって自然環境保全地区に指定されている。井川山林は、これらの自然保護地区には含まれた形で位置している。
- 井川山林には、国立公園区域と連続した亜高山帯針葉樹林がある。
この亜高山帯針葉樹林は上河内岳南東斜面や笹ヶ岳東斜面の植生と同様の植生であることから、3つの自然保護地区の連続性や一体性を高める機能を有している。
- 井川山林のおおよそ各支流にある取水堰よりも上流域の森林、山梨県境に隣接する森林を自主的に自然保護地区に指定し、森林に対する人為的な影響を極力排除することとしており、国立公園に対する緩衝機能を創出している。

【主な植生】

- ムカゴトラノオ、タカネマンテマ、タカネビランジ、ホウオウシャジンなどの固有種
- シラビソ、トウヒ、コメツガなどの亜高山帯針葉樹林
- ミズナラ、ブナ、サワグルミなどの落葉広葉樹林
- タニガワハンノキやオノエヤナギなどの河畔林

【隣接・接続する保護地域等】

- 南アルプス国立公園
- 奥大井県立自然公園（静岡県）
- 笹ヶ岳自然環境保全地区（山梨県）



撮影年月：2022年9月 悪沢岳からみる赤石岳



撮影年月：2013年8月 千枚岳のタカネビランジ

サイトの管理計画・モニタリング計画

| 管理計画の内容 | モニタリング計画の内容 |
|---|---|
| <p>【管理計画の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念『 自然を守り、自然を活かす 』 <p>長期運営方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ①井川山林全山を一体管理 ②自然を広域に厳格管理 <ul style="list-style-type: none"> 自然保護地区 14,538.85ha 林地保全地区 1,504.05ha 融和地区 398.48ha ③自然環境の保全と活用の調和をはかる ④地域一体の活動 | <p>【モニタリング対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山道周辺、林道周辺、貸付地周辺でのゴミ放置、林産物等の無断採取や損傷などの有無 <p>【モニタリング場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各登山道周辺、林道・管理道路周辺、溪流釣り対象の河川沿い、および貸付地周辺。 <p>【モニタリング手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡視（目視）による <p>【実施時期及び頻度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各登山道周辺、溪流釣り対象の河川沿いは年1回、安全に歩行できる時期に実施 林道・管理道路周辺は積雪等で通行できない時期を除き3か月毎に実施 <p>【実施体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営、一部外部委託 |